



平成 30 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 ダイナパック株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 杉山喜久雄  
 (コード：3947 東証・名証第 2 部)  
 問合せ先 取締役常務執行役員 草野 雅夫  
 経営企画本部長  
 (電話番号 052-971-2651)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 2 月 7 日に公表しました平成 30 年 12 月期（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

## 1. 業績予想の修正

平成 30 年 12 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正  
 (平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

	売 上 高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する四半 期純利益 (百万円)	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	25,100	100	300	200	20 円 23 銭
今回修正予想 (B)	25,182	△258	△33	137	13 円 86 銭
増 減 額 (B-A)	82	△358	△333	△63	—
増 減 率 (%)	0.3	—	—	△31.5	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 12 月期第 2 四半期)	23,841	540	766	1,070	108 円 31 銭

(注) 当社は平成 29 年 7 月 1 日付で普通株式 5 株を 1 株に併合しております。前期第 2 四半期の 1 株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して金額を算定しております。

平成 30 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正  
 (平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売 上 高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	52,500	1,000	1,270	950	96 円 10 銭
今回修正予想 (B)	52,500	△60	230	680	68 円 77 銭
増 減 額 (B-A)	0	△1,060	△1,040	△270	—
増 減 率 (%)	—	—	△81.9	△28.4	—
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 12 月期)	49,752	304	654	1,244	125 円 91 銭

## 2. 修正の理由

(平成 30 年 12 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想)

売上高につきましては、堅調に推移しました。

営業利益につきましては、昨年からの段ボール原紙価格の大幅な値上がりに伴い、製品価格の改定に鋭意取り組んでまいりましたが、原紙価格上昇による負担が先行して増嵩したことに加え、製品値上げではカバーできない負担も発生しました。また、運送コストの上昇負担も想定を超えたことなどにより当初の予想を下回りました。

経常利益につきましては営業利益の減少を受け修正するものであります。

親会社株主に帰属する四半期純利益の減少につきましては、経常利益の減少による影響を受けましたが、一方で固定資産売却益の計上および法人税等調整額の計上により減少額が抑えられました。

(平成 30 年 12 月期通期の連結業績予想)

売上高につきましては、引き続き堅調に推移するものとみております。

営業利益につきましては、製品価格の改定は、第 3 四半期以降で一定の効果は期待できる一方で、今年グループ化した旭段ボールへの投資コスト、また運送コストの上昇により当初の予測を下回る見通しです。

経常利益につきましては営業利益の減少を受け修正するものであります。

親会社株主に帰属する当期純利益の減少につきましては、経常利益の減少による影響を受けるものの、一方で投資有価証券売却益を特別利益に計上すること等により減少額が抑えられる見通しです。

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断および仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合があります。

以上